

君の未来に投資しよう

インベスコ・アセット・
マネジメント株式会社
ファンドマネージャー

はっとり ゆきひろ
服部 幸博 氏(高校52期)

2000年 立川高校卒業
2005年 電気通信大学量子物質工学科卒業
2007年 東京大学大学院新領域創成科学研究科卒業
2007年 メリルリンチ日本証券株式会社(現:BofA証券株式会社)入社
2011年 UBS証券株式会社入社
2015年 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社入社
2020年 同社 日本株式運用部 グロース運用責任者(現在に至る)



立高生の皆さん、こんにちは。私は現在、米国アトランタに拠点を構えるインベスコ・アセット・マネジメント株式会社の日本法人で、日本株のファンドマネージャーをしています。国内外の資金をお預かりし、その資産を守り育てる機関投資家として、企業の社長と対話を重ねながら日々投資判断を行っています。

■立高時代

立高時代の思い出は数多くありますが、特に印象に残っているのは高校2年の演劇コンクールのメンバーになり、オリジナル作品を演じたことです。主要メンバーとは卒業から26年経った今でも年に数回集まり、当時の雰囲気のまま語り合える大切な仲間です。

■卒業後から投資家になるまで

立高時代はほとんど勉強をせず、親や友人に心配されました。浪人を経て電気通信大学量子物質工学科に進学し、超伝導リニアの研究者を志しました。その後、企業と共同研究を行う研究室があった東京大学大学院に進学しましたが、入学した年にリニア研究プロジェクトが終了し、夢が閉ざされてしまいました。

就職活動では外資系企業を中心に活動を行い、米国の証券会社メリルリンチに入社しました。ハーバード大学など世界中から集まった優秀な同期と、常に成果が求められる厳しい競争環境で働きました。UBS証券を経て機関投資家営業として働く中で、優秀な投資家と接する機会が増え、自分自身も運用に携わりたいという思いが強くなり、インベスコに入社。営業から投資家に転身しました。

現在はファンドマネージャーとして、日本の成長企業を中心に投資を行っています。企業の未来を見極め、預かった資金で投資・運用を行う仕事は責任も大きいですが、その分やりがいも大きく、企業訪問や工場見学など、普通では得られない経験ができる魅力的な仕事です。

■立高生のみなさんへ

2025年12月に開催された先輩企画で登壇させて頂いた際にお伝えしたメッセージは、「やらない後悔より、やって大成功」(お笑いコンビ令和ロマンさんより)でした。挑戦すれば失敗することもあります。しかし、挑戦しなければ何も始まりません。

私自身、立高時代は勉強せず浪人しましたが、その反省もあり、大学時代から現在に至るまで学び続けることができています。超伝導リニアの研究者にはなれませんでした。その時に学んだ知識は今の投資家としての仕事に確かに生きています。遠回りしたこともありましたが、そのすべてが今の自分をつくっています。

未来を変えるのは、今日の小さな一歩です。今しかできないことに、全力で挑んでください。その経験は必ず、皆さんの未来を輝かせる”投資”になります。若いうちから、どんどんチャレンジしてください。思っているよりも、うまく行って”大成功”することは多いものです。



2025年12月先輩企画